

平成 30 年度 第 4 回 区民と区長との懇談会 報告書（舟渡地区）

○日 時 平成 30 年 9 月 10 日(月) 18:30～20:00

○会 場 舟渡ホール

○出席者 区民 47 名（うち公募 2 名）

区側 17 名

区長、政策経営部長、総務部長、危機管理室長、区民文化部長

産業経済部長、健康生きがい部長、保健所長、福祉部長、子ども家庭部長

資源環境部長、都市整備部長、土木部長、教育委員会事務局次長

地域教育力担当部長、舟渡地域センター所長、広聴広報課長（司会）

【第一部 懇 談】

質 問 内 容	担 当 部 署
1. 地域センターの建替えについて	政策経営部 区民文化部
2. 舟渡小学校大規模改修について	教育委員会事務局
3. 歩道に合わせた一体整備について	教育委員会事務局
4. 舟渡四丁目新日鉄住金（株）工場跡地について	政策経営部
5. 防寒服の貸与について	危機管理室
6. 区民消防隊倉庫の設置について	危機管理室 教育委員会事務局
7. 図書館の建設について	地域教育力担当部
8. 舟渡一丁目都有地について	政策経営部

【第二部 地域の実情についての意見交換等】

報 告 内 容

1. 舟渡小学校おやじの会 会長（青健副会長）

2. 舟っ子クラブ 会長

【第三部 区からの情報提供】

【区長】

皆様、こんばんは。今日は雨の中、舟渡地区の皆さんにお集まりをいただきまして、3年ぶりの懇談会を開催することができました。

皆様には、区政全般にわたり、地域で活動され、区民の福祉の向上やいろいろな面でご理解、ご協力を賜り、感謝申し上げたいと思います。

この地域は、1支部で1町会、また1学校ということで、非常にまとまりが良い町会、地域でございまして、区も様々お世話になっております。過日の花火大会におきましては、板橋区のビッグイベントで、約52万人の方が訪れ、対岸の戸田市を入れて加えますと、100万人とも言われておりますが、このイベントも年々評価を高めておりまして、これもひとえに地域の皆様のご理解、ご協力の賜物ではないかと思っております。

花火大会前日の清掃活動、また明るく日の活動につきましても、皆様にはご協力を賜り、厚く御礼を申し上げたいと思いますし、これからも花火大会を含め、地域の環境美化、また地域のスポーツの推進、いろいろな面で協力を願いたいと思っております。

3月には、マラソン大会もごございますので、ぜひその際にはご参加、ご協力をお願い申し上げます。また、リバーサイド舟渡の地元有志の皆さんは、舟渡ラーメンの提供で、区民まつり、農業まつり、また、様々なおまつりでも非常に活発に活動されており、おいしいラーメンとして、区民の皆さんから大変評価を高めております。過日、1月には、リバーサイド舟渡に関しまして、社会貢献に関する賞を東京都知事からいただいたと聞いております。会員の皆様方、また20年間支えていただきました皆さんに、この場をお借りしまして、厚くお礼を申し上げます。

私の一番印象的なのは、3.11の後に、確か連休の後だと思っておりますが、事務長と一緒に騎西高校に出向き、ラーメンを振る舞っていただけると聞き、非常に印象的な場면을体験することができました。ぜひまたいろいろな面で、被災地支援を含めて、このおいしいラーメンを全国に発信ができればと思っておりますので、協力をお願いします。

今、板橋区では、2025年までの10年間の基本構想、基本計画をつくっております。お手元に、区政概要を配布しておりますが、この内容は、10年間の前期、中期、後期とあるのですが、前期の3年間で今年度で終了する予定でございまして、今まで3年間につきましては、特に公共施設の今後のあり方や子どもたちを取り巻く環境の中で、児童相談所の整備とか、あるいは2020年に向けて中央図書館、小豆沢プール、武道場の改築など、オリンピックに向けた準備を進めてまいりました。これに続く2019から2021年の3年間は、オリンピックを見据えた取り組みを、レガシーとなるよう行っていきたいと思っております。

私は、区政は、やはり様々な経営ではないかと思ひまして、都市経営、地域経営、行政経営と、こういう視点からいつも考えております。そして、施設をつくるだけの消費的なサービスが増えるだけではなくて、そこにソフト面を含めなければと思っております。例えば介護をする場合でも、介護施設をつくるだけではなくて、そこにソフト面として、地域のいろんな包括的なケアができて、そういうものをつくっていかうと考えております。

今後とも消費サービスから、施設のみならず、今までと同じく将来に向けた投資サービスをしていくような転換をしていきたいと考えております。どうぞこれからもご理解を賜って、さらに地域が発展できるよう、ひいては板橋区が、さらに板橋区民の皆様方に、ずっと住んでいただけるような地域づくりをし、東京で一番住みたくなるまちの実現に向けて努力をしていき

ますので、どうぞ、これからもご支援のほどお願いします。

今日は、時間の限りがございますが、効率よく進めたいと思っております。皆様からいただきましたご質問に対しましては、誠心誠意、気持ちを込めてお答えするつもりでございますので、どうぞ皆さんにもご協力をお願いしまして、皆さんの思いのたけをご披露していただければと思っております。2時間の短い時間ではございますけれども、協力をお願い申し上げます。

皆さんの日ごろの自治活動に対しまして、感謝とお礼を申し上げまして、開会のお礼とさせていただきます。

よろしくどうぞお願い申し上げます。

【第一部 懇談】

1. 地域センターの建替えについて

(区民)

舟渡地域センターの建替えについてご質問させていただきます。舟渡支部の人口は、年々増加し、数年後には1万人を超える勢いです。こんな状況の中、舟渡地域センターは、行政の窓口として、さらに支部・青健等の核として使用されてまいりました。当該施設は、まちの中心部から離れ、建設から約45年が経過しております。エレベーターもなく、トイレも和式のままであり、非常に利用しにくい施設でございます。地域の願いとして、長年にわたり舟渡3丁目8番の区有地に、地域センターと文化施設等の複合施設の建設を要望してまいりましたが、板橋区の厳しい財政状況や整備計画に策定されていないなどの理由から、なかなか実現には至っておりません。今後の板橋区個別整備計画に舟渡地域センターの建替え計画を含め、早期の建替えをお願いする次第でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

(区長) 地域センターの建替えについてのご質問を頂戴いたしました。舟渡地域については、人口が大変増えております。冒頭申し上げましたように、荒川の自然でしたり、住みやすい地域に変わっていると理解をしております。これも皆さんのこれまでの成果ではないかと思ひ、ぜひこれからも地域が発展できるように区政でも努力していきたいと考えております。

まず、舟渡地域センターについてですが、昭和49年に建設されておまして、建築から44年5か月が経過をしております。構造につきましては鉄筋コンクリート造で、地上3階建ての建物であります。エレベーターがなく、現在、ご不便をおかけしていることを認識しております。また、平成23年度には、内外装の改修工事を終えまして、3階部分を和室から洋室へ改修工事を実施しております。さらには、平成25年に空調機の更新工事を実施しておまして、建物を維持するための工事を終えてから、あまり時間が経過していないために、現時点におきましては、移転とか改築等の予定を持っていないところでございます。

現在の個別整備計画におきましては、第2期、これは平成38年から47年度を言っておりますが、第2期の対象施設に位置づけられております。区の施設の移転や、あるいは改築・改修工事等につきましては、優先順位をつけ、計画的に実施をしております。そのため、皆様には大変ご不便をおかけすることになります。ぜひ現在のスケジュールについて、ご理解を願いたいと思っております。

また、配置の場所につきましては、区全体での整備計画を進める中において、検討を進めていきたいと考えております。なお、地域センターのトイレ洋式化につきましては、前向きに検討してまいりますので、よろしくお願いいたします。

2. 舟渡小学校大規模改修について

(区民) 舟渡小学校大規模改修についてご質問いたします。

舟渡小学校の大規模改修工事を平成32年度から実施されると聞き、感謝しております。舟渡地区の人口は、年々増え続け、小学校の児童も増え続け、現在1、2年生は3クラス体制ですが、4年後には、全学年3クラス体制が予想されます。教室が不足することが予測される中で、どのような内容、規模、配置等で増築工事が行われますか。また、舟渡小学校の体育館下には、他の学校にはない大きなピロティスペースがあります。ピロティは、雨天時の学校教育の場や地域の防災訓練、運動会など、多くの地域活動で大変便利に利用しています。この場所を現存の形を残して増改築工事をお願いします。

(区長) ただいま、舟渡小学校大規模改修工事についての内容について、増築工事の概要と、現存のピロティを現在の形のまま残して欲しいというご要望を頂戴いたしました。

まず、PTA活動でご尽力をいただいておりますこと、学校の運営、また地域の青少年健全育成、いろいろな面でPTAの役員の方には、ご尽力いただきありがとうございます。今回の大規模改修工事につきましても、様々に打ち合わせ等で協議をいただき本当にありがとうございます。

舟渡小学校の概要でございますけども、昭和46年の竣工でありまして、間もなく50周年を迎えます。地域の人口増加に伴って、今後、児童数の増加も見込まれていることから、大規模改修工事を実施し、施設の長寿命化、また機能性の向上を図るとともに、あわせて教室の不足への対応を図っていきたく考えています。今年度からは、まず設計をはじめ、平成32年度に工事を着手する予定でございますが、これまでに、大規模改修工事を行った学校と同様に、エレベーターやだれでもトイレの増築、給食室の拡充を行うほか、普通教室を5教室増やす計画でございます。また、あいキッズの活用場所については、体育館棟の1階のマルチルームと、志村橋児童館2階に分散をしておりますが、学校内に集約する計画を進めております。

次に、大規模改修工事を行う際のピロティの扱いでございますが、現存の施設を最大限に活用して、機能性の向上、あるいは教室数の増加を図っていくために、今回の舟渡小学校の大規模改修工事においては、体育館下のピロティを特別教室やあいキッズルームに転用する計画です。ご要望については、理解をしておりますが、全体のボリュームの関係で、現在のピロティをそのまま残すことは難しいと考えております。

ぜひご意見を賜って、現在の計画が進められますように、調整と打ち合わせをお願いしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

3. 歩道に合わせた一体整備について

(区民) 私からは、歩道に合わせた一体整備について質問させていただきます。

小学校裏都道の歩道の幅は狭く、1人が交互で通行する程度の幅員しかなく、危険な状態にあります。現在の小学校敷地内の緑地帯、花壇になりますが、切り下げをして歩道と一体で整備し、歩行者が通行する部分を広げることができないでしょうか。この質問は、前回、平成27年度の区長懇の際も提案させていただきました。その際、魅力ある学校づくりプランに基づく舟渡小学校の改築、大規模改修等の計画年次が、都の拡張工事より早い実施となった場合は、拡張整備の先行実施について、都と調整を図ってまいりたいとの回答をいただきました。今、

舟渡小学校の大規模改修工事が、平成32年度から計画されていると聞いておりますが、拡幅整備工事は計画されているのでしょうか。ぜひ都道の拡幅工事とは別にして、学校敷地内の花壇切り下げ工事を早期に進め、安心して通れる通路の確保をお願い申し上げます。以上です。

(区長) 歩道に合わせた一体整備についてのご質問を頂戴いたしました。

舟渡小学校の北側の都道に面した場所は、歩道幅が狭く通行がしにくいことについて、これまでもご要望をいただいております。東京都の都道の拡幅工事、または舟渡小学校の大規模改修工事の際に対応する旨、既にご回答申し上げます。これまでのご要望の経過を踏まえて、今般の大規模改修工事で緑地帯の部分を切り下げて、セットバックをして、歩行者が安全に通行できるように、歩道と一体的に整備をしてまいりたいと思っておりますので、どうぞご安心ください。よろしくお願いたします。

4. 舟渡四丁目新日鉄住金（株）工場跡地について

(区民) 私からは、舟渡四丁目新日鉄住金工場跡地についてご質問申し上げます。

昭和の初期から操業を続けている舟渡地区のシンボリックな新日鉄住金東京工場は、2、3年後に閉鎖されると聞いております。閉鎖するに当たり、新日鉄住金株式会社から板橋区へ説明がされているのでしょうか。また、閉鎖のスケジュールは知らされているのでしょうか。板橋区として何らかの対応をとられるのでしょうか。広大な跡地の利用構想はあるのでしょうか。今後、新情報がありましたら、地域へ速やかに情報提供をお願いしたいと思っております。

よろしくお願いたします。

(区長) 舟渡四丁目新日鉄住金株式会社工場跡地についてのご質問を頂戴いたしました。

今般、新日鉄住金板橋工場が閉鎖されることにつきましては、各種の報道などを通じまして、情報を得ているところがございます。現時点におきましては、区として跡地についての構想、または計画を持っていない状況でございます。昭和10年から長きにわたりまして操業してきた影響力も大きい工場の動向については、引き続き情報収集に努めて、地域の皆様と情報の共有を図りながら、しっかりと対応していきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

(区民) ありがとうございます。よろしくお願いたします。

5. 防寒服の貸与について

(区民) 防寒服の貸与についてお願いしたいと思っております。

総合防災訓練は、以前、関東大震災に合わせ、夏、9月に実施してきましたが、東日本大震災以降、震災日の3月11日に合わせ、3月第2日曜日に実施されています。この時期、幾分、寒さも和らいだころになりますが、まだまだ外は寒い状態が続き、参加される町会の役員や区役所の地域センターなどの職員の皆様も、自前のそれぞれの防寒服を着ております。このような状態で、もし冬に災害が発生して、避難場所を開設した場合、避難者と担当者の判断ができず、避難者は誰に問い合わせをしてよいのかわかりません。また、責任者等がわかりにくく、統制がとれず、混乱が増幅すると思っております。

災害はいつどき、何時、発生するかわかりませんので、住民防災組織本部役員、防災リーダー、区の職員の方に防寒服の貸与をお願いしたいと思っております。

(区長) 防寒服の貸与についてのご質問を頂戴いたしました。町会の皆様におかれましては、まず平成29年の総合防災訓練におきましては、250の方が参加されたのをはじめ、日ごろから

防災活動にご尽力をさせていただきますことに、敬意と感謝を申し上げたいと思っております。また、水防も含め、防災意識の高さに対しまして、感心といたしましうか、高い評価といたしましうか、感謝するところでもございます。誠にありがとうございます。

まず、災害時の避難場所の運営では、ご質問のとおり、避難所のスタッフと避難者が容易に判別できるようにすることが、混乱の防止などの面で重要であると考えております。そのための装備として、避難所班などと表示するような、背中面に文字を張りつけるような、そういう緑色のベストを判別用に各避難所に10着ずつ常備をしております。また、舟渡小学校の避難所におきましては、町会長、防災員、近隣協力員及び学校関係など、約15人の皆様が参画いただくことになっておりまして、今後これに対応する形で、装備数の補充を検討したいと考えております。

なお、防寒服の貸与につきましては、避難所を開設する季節によりましては使用しないこと、あるいは貸与総数が6,000人に近くなるなど、財政的な負担も大きいために、現段階では対応が難しいものと考えておりますので、どうぞご理解をお願いしたいと思います。

6. 区民消火隊倉庫の設置について

(区民) 私たち舟渡町会も、昨年、区民消火隊を再結成しました。これも地域の皆様、また、ここにいる方々のご支援のおかげだと思っております。この場を借りてお礼申し上げたいと思います。ありがとうございます。

舟渡消火隊の活動するに当たって、舟渡町会のポンプ、その他、資機材を小学校敷地内の避難所備蓄倉庫に仮設置していただいております。今でも、数か所の候補地で区民消火隊倉庫の設置を検討していましたが、建築基準法の条件が整わず設置されておられません。ぜひ訓練を行っている学校敷地内に区民消火隊用の倉庫の設置をお願いしたいと思っております。

よろしく申し上げます。

(区長) 区民消火隊倉庫の設置についてのご要望を頂戴いたしました。日ごろから町会区民消火隊の皆様におかれましては、防災活動にご尽力、誠にありがとうございます。舟渡町会の区民消火隊の格納庫については、平成26年の活動休止中に、これまで設置をしておりました都営舟渡第2アパートの建替えに伴って廃止をしたために、昨年度の活動再開に当たり、区としても新たな設置場所の調整を行ってきたところでございます。既に都民ハイム、舟渡2丁目など、数か所の調査を行ってきましたが、建築基準法などの問題がございまして、新たな設置場所が見当たらずに、現在、舟渡小学校の備蓄倉庫に仮移転という形で、スペースや使い勝手の点でご不便をおかけしております。

平成32年度から予定をしております、舟渡小学校大規模改修工事に当たり、敷地内の適切な場所に設置ができるように、区民消火隊のご意見も伺いながら進めていきたいと考えておりますので、どうぞご理解とご協力をお願いします。

7. 図書館の建設について

(区民) 私からは、図書館の建設についてお願いいたします。舟渡の地域に関しまして、人口が増えております。近年、テレビやパソコン、スマホゲームなどの画面を通じての情報収集が大半を占めております。また、私たちの世代においても、新聞を購読して読むという機会も少なくなりました。現在では、インターネットなどを通じて情報収集するのが大変多くなってき

ております。その影響下、子どもの活字離れがますます進んでいるというのが現状だと思えます。舟渡だけではないですが、子どもたちの読み書きに、非常に支障を及ぼしていると言っても過言ではないかと思えます。数年前も、地区内に図書館の建設についてお願いしたところではありますが、図書館の半径何メートル以内には、図書館を新たに設置するのが難しいということでした。どうしてもこの舟渡というところは、板橋でも辺境の地にありますので、そういうことではないのではという感も否めません。どうぞ、お年寄りから幼児まで幅広く利用されて、地域の人々の触れ合いの場として、また子どもたちの活字離れの解消のために、図書館の建設をお願いいたします。

(区長) 図書館の建設についてのご要望を頂戴いたしました。日ごろから子どもたちの安心安全を含め、青少年健全育成にご尽力、誠にありがとうございます。まず、板橋区教育委員会におきましては、板橋区子ども読書活動推進計画2020を策定しておりまして、さまざまな取り組みを実施しております。舟渡小学校におきましても、学校図書室に司書を配置し、魅力的な読書空間の充実を図りながら、ボランティアの方による本の読み聞かせや朝の読書活動等を実施しております。また、読書感想文コンクールや図書館を使って調べる学習コンクール、これを例年実施しておりますが、舟渡小学校の児童の皆さんからも、多数の応募を頂戴しております。

区立図書館につきましては、中央図書館及び地域図書館10館の設置をしております。図書館から離れた地域におきましては、返却のポストの設置や出張サービスを実施して、利便性の向上に努めているところでもございます。

舟渡地区におきましては、舟渡ホール入り口に返却ポストを設置し、出張サービスとして最寄りの蓮根図書館から舟渡ホールに図書資料を提供する事業を実施しております。現在、舟渡地区に新たな図書館、地域図書館を建設する予定は持っておりませんが、ぜひこの出張サービスの充実など、そういった面でさらなるサービス向上に努めていきたいと考えておりますので、ぜひご理解を賜りますようお願いいたします。

8. 舟渡一丁目都有地について

(区民) 私は、舟渡1丁目の都有地についてご質問させていただきます。

かつて、し尿施設の処理場があった跡地ですが、その後、ホームレス対策として一時利用されていた土地で、地域が大きな負担を強いられてきました。また、去年は東京都の動物愛護支援センターの建設予定地として説明会が開催され、地域と何度か折衝した結果、建設は一時中断と聞きました。その後の経過報告がありませんので、その辺の今後の利用方法についてご協議いただければと思います。また、舟渡町会としては、都有地に好ましくない施設計画が発表される前に、図書館などの文化施設等の建設を望んでおるところでございます。

どうぞよろしく申し上げます。

(区長) 舟渡1丁目都有地についてのご質問を頂戴いたしました。日ごろから地域の活動にご尽力、誠にありがとうございます。

東京都によりますと、説明会での皆様からのご意見を勘案し、当該地の活用について再検討しているところでございます。区全域の配置状況等から、区として新しい文化施設を建設することは現在考えておりませんが、当該地の跡地活用につきましては、引き続き検討段階から地域の皆様への情報提供を行うよう、東京都に働きかけをしていきたいと考えておりますので、ご協力のほどお願い申し上げます。

【第二部 地域の実情についての意見交換等】

(司会) 本日は、地域でさまざまな活動をされている2名の方に、活動の様子などをお話しいたします。また、スクリーンを使ってご案内いただけるとのことです。

それでは、はじめに、舟渡小学校おやじの会、また、青少年健全育成舟渡地区委員会の活動等についてよろしくお願いたします。

(区民) こんばんは。おやじの会鯉のぼり大作戦について報告いたします。

私たち舟渡小学校おやじの会は、平成22年に、当時の舟渡小学校に児童を持つ保護者たちで結成し活動が続けています。会は、創設時代のメンバーから現役児童の保護者まで約20名で構成しています。一応、おやじの会は子どもたちの笑顔のために、おやじたちの横のつながり、義務なし充実感、こういったコンセプトで楽しく活動しております。具体的な活動としましては、小学校を核にして、鯉のぼり大作戦やみどりのカーテン、さくらまつり、町会盆踊り、子どもフェスティバル会場での焼きそばづくり、そして3年前から始めた舟渡小学校フェンスを利用したイルミネーションの設置などを行っています。今回、私たちが活動している中で、他の地区にない鯉のぼり大作戦をご紹介します。

鯉のぼり大作戦の紹介でございます。近年、都会や地方に限らず、建物の事情から、春の大空に泳いでいる元気な鯉のぼりを見る機会が減りました。一方、こんな鯉のぼり事情の中でも、過去に使用した鯉のぼりを集めて、連帯で掲げる鯉のぼりイベントをテレビやポスター等で目にする事が多くなりました。

今から6年前、平成25年に私たちの会では、荒川または新河岸川の河川敷を利用して、手づくり鯉のぼりを連帯で掲げることができないのかと考え、何度か打ち合わせを重ねてまいりました。

実際の実施に当たりましては、まず関係機関の了解を得る必要があります。荒川河川事務所、東京都第四建設事務所、板橋区役所、志村警察署に相談、交渉を続けてまいりました。その結果、東京都第四建設事務所から、新河岸川に条件つきで設置する許可が得られました。

設置条件といたしましては、新河岸川の志村橋上流50メートルの範囲内にすること。増水時の対応策を立てること。船の往来に支障を来さないこと。図面を提出すること。関係機関、警察署、区役所土木部との調整を行うこと。行政からの申請を行うこと。公共用地の使用は、一般区民、企業からの申請を受けられないとのことから、青健舟渡地区委員会との共催事業として実施しております。したがって、行政への申請関係は、青健事務局の舟渡地域センターの協力を得て行っております。

活動の内容になりますが、私たちの会には使用済みの鯉のぼりなどありません。また、新河岸川には船の往来に支障のない範囲で許可を得ていますので、泳がせる鯉のぼりの大きさの制限があります。したがって、1メートルほどの白地の鯉のぼりやペンキやはけを購入して、地域の子もたちに好きなように色塗りをさせています。場所は、地域センターの大会議室をお借りしてやっております。

これは、鯉のぼりの色塗りをしている風景でございます。

子どもたちに色塗りされた1メートルほどの鯉のぼりは、子どものように、元気に泳ぎ、季節を感じる事業となっています。

こちらは、足場の写真でございます。舟渡側から見た鯉を飾る足場です。

こちらは、ワイヤーを取りつけている作業の写真です。志村橋を渡って、ワイヤーを向こう側に渡す作業を行っております。

これが、坂下側と舟渡側とワイヤーをつないだ状態でございます。

時々、新河岸川は、作業船が通ります。また、年々定着し、このゴールデンウィーク期間中、自転車や歩行で志村橋を通行する方の足をとめ眺めている姿を多く目にするようになり、舟渡のちょっとした風物詩となっております。

今後も、青健や町会の力をお借りして事業を続けていきたいと考えておりますので、関係機関のご協力をお願いいたします。舟渡の子どもたちが、安全に元気に育っていくことと、河川舟運の役割を終えつつある新河岸川が、舟渡の憩いの場となっていくことを願っております。ぜひ来年のゴールデンウィークも実施いたしますので、ごらんください。

これをもって舟渡地区の実情報告とさせていただきます。

(区長) ただいま舟渡小学校のおやじの会から、大変貴重な鯉のぼり大作戦についてのご説明をいただきまして、ありがとうございました。今日まで全く知らなかったもので、びっくりして、すみません。特にこの新河岸川は幅が70メートルあるので、構造的にも大変だなと思いました。技術的な解決も含めて、東京都の第四建設事務所とかけ合ったということは、非常に意味があるかなと思っております。

新河岸は工場が多いので、川の面を見て美しさを感じるということを意識するという事は、非常に大事だと思います。川は雨が降ると非常に危険な場所になるので、環境面や安心安全について考えていくことも重要となります。そして、鯉のぼりというのは、何ととっても、自分の子どもだけではなくて、地域全体が、地域の子どもの成長を願うものですよね。その願いを込めて、全員の子どもさんでつくるということに、非常に意味があるのかなと思っております。その作品が並んで、そこに親御さんも含め地域全体で、雄大に泳ぐ姿を見て、それを子どもの成長とオーバーラップするような取り組みになると、優しさが感じられた地域になっていくのかと思います。今、工場群が多い地域からだんだん住宅の地域に少しずつ変わってきました。そういう点から、新河岸川をまた美しく見つめて、また、子どもたちの成長を願う気持ちを、ぜひこの鯉に込めていただいて、全員の力で鯉のぼり大作戦を成功していただきますように、来年はさらに盛大にできますよう、私ども拝見にまいりますので、ご協力をお願いします。

本当に貴重な体験と、またすばらしい取り組みに感謝したいと思っております。

ありがとうございました。

(区民) 舟渡小学校舟っこクラブは、学校の5日制に伴い、児童の居場所づくりを目的として創設されたクラブです。月1回のペースで、土曜日の午前中、小学校の施設を利用して、子どもたちに楽しく遊ばせる企画を立てて実施しております。

主なる活動といたしましては、9月に行われるソーメン流し、テニス教室、料理教室、野球、卓球と、身近なアスレチック体験、餅つきなど、秋には小学校の体育館を利用しての1泊のキャンプや、冬の宿泊スキー教室なども行っております。

これは、防災キャンプのときに作っているカレーです。防災なべ2つで、ほとんど完食をしております。

私たちが、このような活動ができることは、舟っこクラブ創設以来のメンバーの舟渡小学校

児童への思いと、舟渡の子どもたちは舟渡で育てるというまちの精神に基づき、舟渡小学校やPTA、舟渡町会、リバーサイド舟渡、おやじの会の方々のご支援や協力をいただきながら実施されております。今後ともよろしくお願いたします。

続きまして、舟渡コミュニティニュース紙の紹介をさせていただきます。

私たちの舟渡地域の特色ある事業として、平成15年度6月から毎月、舟渡コミュニティニュース紙を地域に特化した内容で発刊しております。発刊以来、毎月約1,200部発行し、今月発行の舟渡コミュニティニュース紙は185号になります。この舟渡コミュニティニュース紙は、支部長兼町会長が編集の責任者として、地域の11団体、舟渡町会、舟渡青健舟渡、エコポリス舟渡、舟渡小学校、同PTA、志村第五中学校、舟渡商店会、商栄会、老人会、福寿会、舟っこクラブ、志村橋児童館、志村橋保育園の会長、校長、園長などの会の代表者が、月1回、おおむね第3木曜日です。開催される舟渡地区連絡協議会に出席をして、各団体の実情報告や、この先、1か月間の予定の活動予定を報告し、意見交換を行い、情報の共有化を図り、さらに各団体等から事前に提出された情報をもとに作成されている舟渡コミュニティニュース紙の原稿、編集、校正を行い、発行しております。

主な掲載内容は、板橋区役所舟渡支部、舟渡町会、学校等のイベント情報や青健舟渡地区委員会、エコポリス板橋舟渡地区環境行動委員会、舟っこクラブ、スポーツ少年団、児童館等の募集や活動情報、さらに育児相談などの健康相談や1か月間の主なスケジュール、そして舟渡各町会の世帯数、人口を掲載しています。舟渡コミュニティニュース紙は、地域の情報紙として認知されております。この情報紙は、舟渡小学校全校児童に月1回配布されるとともに、町会の回覧やポスター掲示板への掲示、地域センター、舟渡ホール、児童館、保育園、集会所等にも配備し、誰にも入手しやすいように対応しております。さらに、舟渡地域情報のブログにもアップされており、地域外からも、どなたでも情報を得ることができます。どなたでも閲覧することができますので、ご一読していただければ幸いです。今後さらなる地域住民のコミュニティツールとなれるよう、内容の充実を図ってまいりたいと考えております。

これをもって、舟渡の実情報告とさせていただきます。

(区長) 一言、お礼と感想を申し上げたいと思います。ただいま、舟っこクラブと、舟渡コミュニティニュースについてのご紹介をいただきました。私もPTAの会長をやりましたので、確か記憶では、学校開放協力会というのは平成15年ぐらいに始まったと思ひまして、そのときに私は赤塚地域の学校でしたが、舟渡小学校は、学校開放での土曜授業・活動について、板橋区の中でも先頭を切ってやってきたと感じておひまして、いつもすごいなと思ひしていました。当時から変わらぬ活動を続けていくことは、簡単なことではないかと思ひますが、多くの皆様、特にこの町会の関係の皆様とか、青健とか、あるいはPTAの皆様、全ての団体の皆様が協力をしていかないと、このような継続はできないというように思ひまして、地域の皆さん全員に感謝をしたいと思ひしているところでもございます。

舟っこクラブの内容を聞きますと、学校の体育館を使ったり、あるいは、時には学校から離れて、キャンプ等に行ったりということもあると聞いておりますけれども、今、子どもたちには体験が必要でありまして、いろんな野外体験とか、あるいは自分で何かを交渉したりとか、そういうのがなければ、やはりどんなに学習ができて、恐らく社会に出ていろいろな面で苦勞するのではないかと思ひます。今、アントレプレナーとかというふうに言われておりますけれども、いろんなところで地域の皆様が、そういう力をつけられるような、地域の見守りとご支

援をぜひお願いをしたいと思っております。

そして、今、子どもたちには、いろんな体験がありますけども、例えば友達と1泊キャンプをしますよね。そういうときの思い出というのは、多分一生残ると思います。6年間の小学生生活がありますけども、そういうのが1日でもあれば、本当に一生の思い出、また一生の友人ができると思います。ぜひそういったチャンスを少しずつ練習しながら、山登りと一緒に、少しずつ子どもたちの成長に合わせてやっていただきますように、青健の皆様はじめ、今日おいでの皆さんにはお願いしたいと思っております。

今、一方では、特に地域包括ケアとか、子どもたちの居場所づくりが盛んに言われておりまして、板橋区でもあいキッズをはじめ、児童館の乳幼児にも目を向けて、切れ目のない子育て支援というのをやっており、包括的な取り組みをしております。自分でやることは自分でやりますが、自分だけではできないことも大変増えてまいりました。したがって、「自助、共助、公助」という言葉がありますが、その共助の部分が、さらに強くなるような、取り組みをお子さんからシニアまで、できるような地域づくりを、包括的に実施できればと思っております。舟渡地域については、非常にまとまりがいい地域でございますので、学校開放も含めて、皆さんにはぜひモデル的に実施していただきますようお願いしたいと思っております。

そして、自分たちのまちは自分たちでつくるということをよくお話をしますが、このコミュニティニュースを拝見いたしますと、恐らくいろんな方のいろんな体験が、あるいはその活動の報告が出ていると思います。多分、例えば1年前に住んだ方、本当に今週住んだ方も含めて、そういう内容を見ると、恐らく地域のことがよくわかりまして、その地域に住んでよかったと思っただけなのではないかと思っております。新しく住む方も、舟渡を愛してくれる方がいっぱいいると思います。今、学校でも、郷土愛に対して非常にこだわっております。教育大綱でも、まず郷土板橋を大事にする心を育てていきたいと思っております。ぜひ皆さんには、郷土愛とか、あるいはその郷土を自分たちでつくっていくんだというようなお子さんになれるような、そういうお子さんから大人までの地域づくりを、このコミュニティの新聞を含め、お願いしたいと思っております。

先駆的な取り組みでございますので、どうぞこれからも協力をお願いしたいと思っております。ご丁寧な説明、誠にありがとうございました。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

【第三部 区からの情報提供】

(所管部長より説明)

- ①ブロック塀の安全対策について
- ②板橋区生活安全対策事業について
- ③介護予防事業について（「高齢者の暮らしを拓げる10の筋トレ」実演あり）

(司会) 以上で本日の懇談会を終了いたします。

終了の前に、区長からお話を申し上げます。

(区長) 皆様、大変お疲れさまでした。予定の時間よりも少し早く終わってしまったのですが、今日は大変難しい課題の質問もあったのですが、皆様には丁寧にご説明をいただきました。発言をいただきました皆様、質問をしていただきました皆様に感謝申し上げます。

今回の質問は、すぐにできるものもあったのですが、中には非常に大きな問題もあり、解決には時間のかかるものもございました。今後とも、地域の実態や、あるいは社会の情勢を見きわめながら、タイミングよく、この問題解決につつまして努力をしていきたいと思っております。

ぜひ皆様にも、今後とも状況の変化を十分に見きわめながら、皆さんにはご意見とご提案をお願いしたいと思っております。引き続きのご支援をお願い申し上げたいと思っております。

今回の発言の中で、特に感じましたのは、何といたっても皆さんは、やはりこの地域で活動されていますので、非常に地域をよく知っているなと思った次第でございます。また、この地域にはほかにないものがたくさんございます。マラソンであったり花火であったり、また川を使ったさまざまな自然の豊かさ、こういうものがこの地域の特性ではないかと思っております。今、板橋区はまさに、地域のブランド・魅力は自分たちでつくるのが非常に重要だと思っております。今日お配りした板橋マニアを見るとわかりますが、必ずしもこれはお金を使って遊ぶことが魅力ではなくて、歩いて楽しんだり、また自分たちが誇りに思えるものがあります。こういうものが、最終的には誇りになったり、魅力になるのではないかと思っております。

ぜひ、これまで培ってまいりました舟渡地域のさまざまなすばらしい魅力を、さらに区政と一緒にあって、これを伸ばし、そして区内外からさらに人が訪れるようなまちづくりを進めていきたいと考えております。今後とも皆さんの協力をぜひお願いをしたいと思いますし、また人口も増えてまいりましたので、さらにいろんな方が、この地域を選んでいただけるよう、安全なまちづくりにもぜひ頑張っていきたいと思っておりますので、ご協力をお願い申し上げます。

どうぞ舟渡地域の皆さんには、これからも区政に変わらぬご支援と、そして地域の皆さんが、地域住民の皆さんに対しまして、さらに住みやすい地域づくりをご提供いただきますようお願い申し上げます。

皆様のご協力に感謝申し上げ、舟渡地区がますますご発展をされますことを心から期待とお願いを申し上げて、閉会のお礼のご挨拶にかえます。

皆様、ありがとうございました。